

第8回 再資源化等支援検討会 議事録

1. 日時 2023年2月20日(月)14時00分～14時55分
2. 場所 Webex によるオンライン開催
(財団職員:自動車リサイクル促進センター 第1・2会議室)
3. 出席者 山本座長、小島委員、松井委員
公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部
経済産業省担当官
環境省担当官
4. 議題
 1. モデル事業の実績・成果
 2. 2022 年度 再資源化等支援業務 活動報告 (2023 年 2 月報告)
 3. 2023 年度 再資源化等支援業務 活動 計画
 4. 2023 年度 自治体への出えん計画
 5. 2023 年度 指定再資源化機関の要望額

5. 会議の概要

(再資源化支援部)

「1. モデル事業の実績・成果」を説明。

(委員)

本事業を通じて、自治体が事案解消のために動き出すきっかけのようなものについての知見は何か得られたか。

(再資源化支援部)

今回の事案について自治体が動き出したきっかけは PCB の存在であった。そういった自治体が動かざるを得ないような事態が一つのきっかけとなる。また、現在は鉄相場が良いので、そういったタイミングもきっかけとなりうると考える。

(委員)

議題1. について承認する。

(再資源化支援部)

「2. 2022 年度 再資源化等支援業務 活動報告 (2023 年 2 月報告)」を説明。

(委員)

各研修について、対面での開催希望が増えているようだが、オンラインのニーズは減っているのか。

(再資源化支援部)

オンライン開催についても移動の制約等がなくなることから、ニーズは多い。一方で、自治体によっては、対面開催を通じて JARC や国と個別に課題等について話を求める機会を求めている。オンラインのニーズが減っているというよりは、一定程度は対面開催のニーズも存在するとご理解いただきたい。

(委員)

議題2. について承認する。

(再資源化支援部)

「3. 2023 年度 再資源化等支援業務 活動計画」を説明。

(委員)

23 年度の離島対策支援事業の個別課題への対応として、佐渡市を挙げているが、何か契機があったのか。

(再資源化支援部)

島内の使用済自動車処理を積極的に進めている中で、一部課題があるものがある
と伺っているため、そういった事案に離島対策等支援事業および放置自動車処理
の知見等の活用を含めて、個別課題への対応として協力していく。

(委員)

議題3. について承認する。

(再資源化支援部)

「4. 2023 年度 自治体への出えん計画」を説明。

「5. 2023 年度 指定再資源化機関の要望額」を説明。

(委員)

議題4. 及び議題5. について承認する。

(再資源化支援部)

本日審議いただいた「5. 2023 年度 指定再資源化機関の要望額」は、2023 年 2 月
27 日開催の第 100 回資金管理業務諮問委員会に上程する。また、次回の再資源化
等支援検討会は 5 月下旬から 6 月上旬を予定。2022 年度の再資源化等支援業務
の活動報告について主に審議いただきたい。

以上